



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」  
— 気付き、生かす —

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 8 号  
令和 2 年 6 月 11 日

## 待ちに待った入学式

校長 古市 直彦

休校が明け、全員登校が始まった2日目の6月9日。待ちに待った入学式を行うことができました。

「密」を避けるため、来賓の方のご臨席を辞退させていただき、2・3年生の参加がない状態での入学式となりましたが、事前に3年生が心を込めて会場の準備をしてきていました。式歌等を省略した短縮型での実施でしたが、初夏のこの時期の入学式というのは、私にとっても初めての経験で、とても印象的なものになりました。

入学式の様子を振り返ってみます。

例年と違う夏服の制服で入場した新入生でしたが、例年のように堂々と入場することができました。呼名への返事も立派で、既に若中生としての自覚を感じました。



黙々と会場準備をしてくれた3年生



堂々と、夏服の制服で入場する新入生



担任の呼名に応える新入生

その後、私から「式辞」として次のようなメッセージを贈りました。

例年ならば桜の時期に行っていた入学式ですが、今年はいじさいの季節・花しょうぶの季節、そして、麦の穂の実る季節となってしまいました。実質的には、1年生の皆さんが最初に本校に登校した4月14日が入学の日となりますが、本日、ようやく、入学式を行うことができます。

入学された新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。在校生教職員一同、皆さんの入学を心よりお祝いし、歓迎いたします。

若松中学校では、「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成 ～気付き、生かす～」を学校目標にして、授業をはじめ、行事など、様々な活動を行っています。そこで、新入生の皆さんにがんばってほしいことについて、二つお話しします。

一つ目は、「思いやり」を大切にしてほしいということです。

若松中学校では、校訓や校章の願いを実現するために、思いやり・身だしなみ・掃除・話を聞く態度・言葉づかい・礼儀・挨拶・きまりを守る態度を気をつけようということで、8つの頭文字を並べた「おみそはこれあき」を合言葉に、学校生活の向上に向けて取り組んでいます。「思いやり」は、その最初にくる言葉でもあります。自分自身が周りの人に親切にしたり、感謝したりする気持ちを忘れないでください。そうすれば、周りの人も、皆さん自身に親切にしたり、感謝したりする気持ちを

向けてくれるはずで。そして、友達からの思いやりに気付いたら、次の自分の思いやりに生かしてください。これが繰り返されれば素晴らしい学校生活になるはずで。

二つ目は、いろいろなことに「挑戦」してほしいということです。

中学校では、学習だけでなく、行事や部活動などで、自分で何をするか考え、自分で決め、自分で行動する場面が数多くあります。自由度が増していきますが、反面、責任を負わなければならない場面も出てきます。その時に、失敗を恐れて、行動を起こさないでいると、結果として何もできません。チャレンジすれば、失敗することもあります。しかし、失敗から気付くこともあり、それを次の挑戦に生かすこともできるはずで。小学校の頃にどうだったかなんてことは、関係ありません。今日からが新しいスタートです。



式辞を真剣な表情で式辞を聞く新入生

さて、ご参列の保護者の皆様、本日は、誠にありがとうございます。お子様の成長を大きな喜びとして、大切に見守り、育ててこられた、保護者の皆様方に、心からお慶び申し上げます。若松中学校の全教職員が、責任をもってお子様の教育を担当させていただきます。何かございましたら、担任または教職員にお気軽にご相談ください。教職員一同、全力を挙げてお子様の教育活動に取り組むことをお誓い申し上げ、式辞とさせていただきます。

そのあと、新入生代表の生徒から、次のような「誓いの言葉」が述べられました。

初夏の爽やかな風が木々の緑とたわむれる頃となり、私たちは、若松中学校の入学式を迎えることになりました。

本日は、このような立派な入学式を行っていただき。大変感謝しています。

若松中学校の制服に袖を通し、どのような学習が始まるのか、部活動は何に入ろうか、新しい友達ができるのかと、期待と不安でいっぱいです。

いまだ、新型コロナウイルスの影響で密接なふれあいが制限され、人との関係も不安定になる中で、言葉や態度での接し方は大切だと思います。私たちにできることは、小学校で学んだ感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言えるようになること、また、それをもとに仲間との協調を深めていくこと、そして、学習や部活動に一生懸命励み、友達のことを思いやり、若松中学校でともに学ぶこの仲間たちとともに、一步一步成長させることです。



誓いの言葉を述べる新入生代表生徒

校長先生をはじめ先生方、これからの中学校生活で、学習でつまずいたり、間違ったことをしたり、悩んだりすることがたくさんあると思います。そのときは温かく、時には厳しくご指導の程お願い申し上げます。

個別相談や分散登校で、数日間、登校していた後ということもあり、新入生は落ち着いた態度で式に臨むことができていました。また、体育館内は30℃を越えるという状況だったにもかかわらず、式の間、集中を絶やすことがなく、背筋を伸ばして話を聞くこともできました。前日に行った避難訓練では私語が目立った1年生でしたが、傍らでは無言で避難していた2・3年生の姿を見て気付き、学んだことを、生かすことができたようです。素晴らしい成長ぶりでした。

式後の新入生の表情からは、「やっと入学式を行うことができた」という、安心感を感じ取ることもできました。

校報「若松中だより 第8号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください

( 千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125 )